

**平成 30 年度  
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会  
事業計画書**



**社会福祉法人奥州市社会福祉協議会**

## 社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の基本理念（ビジョン）

だれもが心の豊かさと幸せを実感できる  
「福祉のまち奥州市」をめざして

新たな福祉のまちづくりにあたっては、だれもが「この地域に住み続けたい」願いをかなえるため、市民一人ひとりのふれあい、ささえあい、たすけあい、わかちあい、かたりあいの輪をひろげ、みんなが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をつくります。

1. 市民の福祉に対する願いに応え、「みんなと交わる」ことを大切にしながら、親しみに満ちた福祉活動をめざします。
2. 市民の福祉に対する関心を高め、「みんなとともに楽しむ」ことを大切にしながら、市民参加による福祉活動をめざします。
3. 市民の福祉に対する理解を深め、「みんなのために役立つ」ことを大切にしながら、よりよい自立に向けた福祉活動をめざします。
4. 市民の福祉にかかわる活動をしている人たちと手を結び、「みんなのための福祉」のあるべき姿を考え、市民の信頼に応える福祉活動をめざします。



平成17年10月12日制定

# 平成 30 年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会事業計画

## 1 基本方針

平成 29 年度は、身近な地域で見守る仕組み、地域で市民が互いに支え合う仕組み（互助）、地域の課題を掘り起こす仕組みづくりによる課題を解決する方法の構築を進めながら、支援を必要としている方に対する個別支援活動とグループ支援活動の取組みを充実させてきました。

また、本会が取り組んでいる事業について、重点事業 21 項目及び関係事業 43 項目について、事業の見直し取組み方針を決定いたしました。その方針に基づいて平成 30 年度以降、長期、中期、短期の区分別に事業の見直しを実施いたします。

本年度は、市民や関係機関との合意形成を更に進め、地域ニーズの把握・検討や情報共有の機会づくりを通して、地区振興会等との協働をすすめながら、行政区単位を基本として、住民主体の地域づくりを進めるための再編を図るため、地域セーフティネット会議の運営や地域食堂サロン実施のモデル指定事業に取組み、今後の地域づくり事業として重点的に進めていきます。

本会の根幹事業の地域福祉活動を推進するために、孤立防止のための実態把握とその対応、社会とつながりを持つための居場所づくり、日常生活の見守りや困りごと等の生活支援を行う「安心生活創造推進事業」を引き続き取り組んでいきます。

東日本大震災後、本市移住者の心のケアや見守り・相談支援を行う「東日本大震災被災者生活支援事業」に継続して取り組むとともに、「被災者コミュニティ形成支援事業」を新たに開始し、移住後のコミュニティ形成を円滑に進めるための活動を支援します。

ボランティア・市民活動センターにおいては、これまでに専従のボランティアコーディネーターを配置して機能強化を図り、講座研修会の開催、調査研究・情報提供、コーディネート、福祉教育の推進、地域の特徴的活動、災害被災地・被災者支援などを行ってきました。本年度は新たに、ボランティアハンドブックの作成や地元企業や商店を対象とした社会貢献活動研究フォーラム、福祉教育メニューの開発を行い、ボランティア活動の啓発と活性化を図り、ボランティア団体の支援を実施します。

限られた人員と財源の中、効率的で効果的な事業活動を進めていくため、本年度から、本所地域福祉課と水沢支所の機能統合を図り、特に組織機構、役員・評議員の選任区分の見直しについては、理事会にて慎重に検討を重ね、その結果に基づいて平成 30 年 11 月までに決定いたします。

高い公益性が求められる社会福祉法人として、より一層、福祉サービス供給体制の更なる整備充実を図るとともに、組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化及び地域における公益的な取組みをすすめていきます。

策定から 3 年目を迎える奥州市地域福祉活動計画に定めた事業の取組みは、奥州市地域福祉計画を策定した奥州市と連携をしながら、具体的取組みを市民の参画を得て着実に推進していきます。また、計画上期の最終年に当たるため、目標の達成状況や取組みの進捗状況を点検しながら進行管理を行います。

市民が福祉に対する理解を深めるために、情報発信の充実と情報の共有を図ります。従来の全市民向けの広報活動に併せて、本年度は、対象とする世代に特化した広報活動やソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）を活用したタイムリーな情報発信、本会イメージキャラクターの積極的活用に取り組めます。

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方の権利が侵害されないために、成年後見制度や日常生活自立支援事業等を適切に利用できるような一体的・総合的な支援を行う権利擁護あんしんセンター事業の推進、生活に困窮している方の自立と尊厳の保持、困窮者支援を通じた地域づくりを行う生活困窮者自立支援事業に取組み、併せて、総合相談会の開催等を通じて支援体制の充実を図ります。

本会の介護保険事業の推進は、介護報酬の減収や事業利用者の減少が進行する中、事業集約をはじめ効率化に取組み、本会の実施する地域福祉サービス事業との連携のもと、引き続き利用者が安心して利用できるような健全な経営に努めます。平成 29 年度で終了した生きがい対応型デイサービスセンター事業にかわり、奥州市介護予防・日常生活支援総合事業の第 1 号通所事業「元気応援デイサービス」を新たに開始いたします。

奥州市から新たに受託した前沢区における放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ 2 か所）を加え市内で 19 か所の放課後児童クラブの適正な運営を行い、米里保育所の経営やファミリーサポートセンター事業等、より一層、児童の健やかな育ちと保護者の子育て支援の充実に努めます。

## 2 重点項目

- (1) 多くの関係機関や地域団体及び各種団体と連携を図り、地域福祉活動を推進します。
- (2) 小地域福祉ネットワークやふれあいいいきサロン等の住民支援活動を推進するとともに、新たに「地域セーフティネット会議」「地域食堂サロン」の小地域ネットワーク事業モデル行政区指定事業に取組みます。
- (3) ボランティア活動の推進と活性化を図るため、ボランティア・市民活動センターにおいて社会貢献活動研究フォーラムなどの新たな事業に取組みます。
- (4) 平成 29 年度に決定した事務事業見直し方針に基づいて、平成 30 年度以降、長期、中期、短期の区分別に事業の見直しを実施いたします。
- (5) 組織機構、役員・評議員定数等について協議し、具体的な方針を決定します。
- (6) 対象世代に特化した広報、SNS を活用した情報発信、本会イメージキャラクターの積極活用に取り組めます。
- (7) 権利擁護あんしんセンター事業及び生活困窮者自立支援事業の充実を図り、福祉サービスの利用支援をすすめます。
- (8) 介護保険事業における介護サービスの充実と事業集約等の効率化を推進し、安定した経営に努めます。
- (9) 児童福祉関係事業の拡充を図り、放課後児童クラブの運営等の実施事業を通じて子育て支援を行います。
- (10) 職員の確保に努め、職員の資質向上と専門性を高めるため、全職員を対象とした研修を計画的に行います。

## 平成 30 年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の主な事業内容

### 1 法人運営

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	三役会議、理事会、監査会、評議員会	本所	会 費 自主財源	6,000	<p>定款に基づき会議を開催し、社会福祉協議会の健全運営と地域福祉活動の推進に向けた取組みを協議し決定します。</p> <p>*三役会議 会長、副会長、常務理事、事務局長において法人業務執行を行います。</p> <p>*理事会 法人の業務執行の決定を行います。</p> <p>*監査会 業務執行状況、法人の財産状況等の監査を行います。</p> <p>*評議員会 役員の選任及び解任、予算及び事業計画、決算及び事業報告、定款変更等の決議を行います。</p>	
2	部会・委員会等の開催	本所	会 費 自主財源		<p>委員会等を設置し、地域福祉事業のありかたや社協事業の検討を行い、必要に応じて専門的な事項について、会長の諮問に対する意見を具申します。</p> <p>*部会：総務部会、地域福祉部会、在宅福祉部会</p> <p>*委員会：ボランティア・市民活動センター運営委員会、職員人事委員会等</p>	
3	役員研修・職員研修の実施	本所 各支 所	会 費 自主財源	300	<p>社協の役職員としての使命感を持ち、地域福祉事業を効率的かつ適正に行うために、各職務に必要な専門知識や技術を習得し資質向上を図ります。</p> <p>*役職員研修会の実施</p> <p>*事業部門別研修及び職務別研修の実施</p> <p>*外部研修の受講、Off-JT の取組み</p> <p>*資格取得に係る体制の整備</p> <p>*職場内研修の推進</p>	
4	財務経営管理	本所	-	-	<p>適正かつ効率的な事業運営と財務経営管理に努めます。</p>	
5	福祉サービス苦情解決事業	本所 各支 所	会 費 自主財源	82	<p>本会が提供する福祉サービス等に対する苦情へ適切な対応することにより、苦情の円滑・円満な解決の促進及び本会の信頼並びに確実性の確保を図り、利用者が福祉サービスを適切に利用できるよう支援します。</p> <p>*第三者委員（6人）を設置</p> <p>*事業所ごとに苦情受付担当者を設置</p> <p>*福祉サービス運営適正化推進会議や苦情解決研修の実施</p>	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
6	地域福祉推進協議会や地区振興会及び自治会との協働による事業推進	本所 各支 所	会 費 協賛金	助成金 4,866	振興会等の自治組織との協議・事業推進 * 地区地域福祉推進協議会の設置 * 三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議の開催 * 振興会等の自治組織との協議・事業推進	活動助成金 水沢 1,552 千円 江刺 1,689 千円 前沢 633 千円 胆沢 628 千円 衣川 364 千円
7	共同募金運動への協力	各支 所	-	-	地域福祉活動の重要な財源である共同募金事業との連携協力を図ります。 共同募金運動の必要性を子どもや地域に理解されるよう、魅力のあるプレゼン方法で提案します。 * 罹災者支援事業 共同募金配分金により、罹災者に対する支援活動に協力します。 * 災害支援活動／災害見舞金の交付	

## 2 福祉センターの経営（経営2施設・指定管理1施設）

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	総合福祉センターの経営	本所 水沢 胆沢	補助金 利用料	16,042 8,324 7,718	市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を推進するための活動拠点とします。 * 奥州市総合福祉センター * 胆沢総合福祉センター	
2	江刺総合コミュニティセンターの経営	江刺	指定管理料	29,073	市の指定管理を受け、ノーマライゼーションの理念の普及と高揚を図り、市民の相互理解と交流の活発化の推進のため、地域福祉の研修や文化活動等を行う拠点とします。 * 江刺総合コミュニティセンター	平成30年度から平成34年度まで5年間

## 3 地域福祉活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	福祉活動推進員設置事業	全市	会 費 自主財源	333	市内の行政区単位の福祉活動推進員を設置し、地域福祉活動を推進します。	
2	民生委員・児童委員(協議会)との協働活動の推進	全市	会 費 自主財源	323	民生委員・児童委員(協議会)と地域福祉推進のため連携し、調査活動等を協働で行います。	
3	第13回奥州市社会福祉大会の開催	全市	共募配分金	937	社会福祉功労者表彰、特別講演により福祉活動への共通認識と理解を深め福祉意識の醸成を図ります。	
4	広報活動の推進	全市	共募配分金 広告料	1,928	社会福祉協議会広報紙「おうしゅう福祉だより」を発行し、福祉活動の啓発を図り、	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>市民の参画を促進します。</p> <p>企画編集の手法や掲載イラスト等を工夫し、読みやすく分かりやすい内容の広報紙づくりに取組みます。</p> <p>対象とする世代を絞った内容の広報活動に取組み、福祉に対する興味を持つきっかけづくりを進めます。</p> <p>SNS を積極的に活用し、タイムリーな情報発信に取組みます。</p> <p>*市内全世帯 44,500 部発行/年間6回奇数月</p> <p>*支所福祉だよりの発行</p> <p>*パブリシティの活用による広報活動</p> <p>*ホームページによる情報の提供</p> <p>*フェイスブック等での情報提供/随時</p> <p>本会イメージキャラクターのフレアイガーをイベント等で積極的に活用します。</p> <p>民間活動財源の紹介と助成申請事務の支援を行い、既存の建物を福祉活動拠点として整備するほか、異世代間交流の促進を進めていきます。</p>	
5	地域福祉活動計画の推進	全市	共募配分金	254	<p>第2次奥州市地域福祉活動計画（期間28年度から32年度）について、計画の周知、具体的取組みの実施を進めます。</p>	
6	奥州福祉推進市民会議の推進	全市	共募配分金	252	<p>市民及び町内会等の自治組織やボランティア団体等、関係団体や機関が一体となって、地域の福祉課題の確認及び奥州市地域福祉活動計画のモニタリングや評価を行います。</p> <p>福祉団体の情報を共有するため連絡会議を開催し、連携強化を図り、当事者組織の充実と育成を促します。</p>	
7	<p>住民支えあい推進事業</p> <p>①支えあい事業「にこにこネット」事業</p> <p>②要援護者台帳整備、緊急連絡カードの配備</p> <p>③住民支え愛マップ事業</p> <p>④ふれあいいきいきサロン事業</p>	全市	<p>受託金</p> <p>共募配分金</p>	7,202	<p>地域の中で支援を必要としている人に対して、近隣の方々やボランティアとともに、自分の住む地域の中で安心して暮らすことのできるような取組みについて個別支援活動とグループ支援活動として進めていきます。そのため、地域福祉活動を実施している団体に助成金を交付し、協働で積極的に推進します。</p> <p>また、市民や関係機関との合意形成により、地域ニーズの把握・検討や情報共有の機会づくりを通して、福祉コミュニティ活性化をめざした事業再編を図るため、モデル行政区（地区）の指定を行います。</p> <p>①にこにこネット・たすけあい行動プラン</p>	ネット数

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
	⑤小地域における福祉活動助成 ⑥モデル指定事業の取組み				<p>事業（個別支援活動）</p> <p>*地域の要援護者に対する見守りや安否確認、訪問活動を展開します。福祉活動専門員が中心となり関係者連絡会等の開催支援をしながら、市民相互のささえあい活動を実施します。</p> <p>*災害時要援護者避難支援計画の個別計画に基づき、災害時には要援護者の迅速な安否確認と支援を行うことを目的に台帳整備を行うと共に、小地域福祉ネットワーク推進事業との<b>統合にむけた取組みを行います。</b></p> <p>②要援護者台帳等整備、緊急連絡カードの配備（個別支援活動）</p> <p>*民生児童委員や福祉活動推進員等が連携し、要援護世帯の安否確認と生活支援に必要な情報を整理し、緊急時における支援体制の構築を図り、台帳整備と緊急連絡カードの配備を促進します。</p> <p>③住民支え愛マップ事業</p> <p>*マップ作成を通し、小地域における生活課題を掘り起し、地域の要援護者を再認識し、関わり方や生活課題の解決策などを共通理解しながら、支え合いの仕組みづくりを構築します。作成済みの地域では更新作業を推進します。</p> <p>④ふれあいいきいきサロン(グループ支援活動)</p> <p>*地域住民が分館や集会所を会場にお茶飲み会や交流などを行い、地域生活の生きがいづくりと介護予防を図ります。</p> <p>⑤小地域における福祉活動助成</p> <p>*地域福祉活動を推進する団体に、ネットワーク活動及びふれあいいきいきサロン活動等の取組みに対する助成金を交付します。</p> <p>⑥モデル指定事業の取組み</p> <p>*地域の福祉関係者による話合いの場を地域セーフティネット会議（ネット会議）の開催をモデル指定し、地域の課題発見と検討、地域の要援護者の情報共有と見守り支援・発災時の避難所への避難支援、地域の交流の場や居場所づくりの開催もしくは運営支援を行います。</p> <p>*コミュニティカフェやひとり暮らし高齢者の会食会、子ども食堂など福祉力強</p>	<p>(現状維持)</p> <p>見守り 2,700 人 協力員 5,600 人</p> <p>避難支援台帳 (20%増) 1,200 枚</p> <p>被災者ネットワーク形成 3カ所</p> <p>連絡カード配備 (現状維持) 3,600 枚</p> <p>マップ作成数 (10%増) 100カ所</p> <p>サロン (現状維持)</p> <p>行政区普及率 93%</p> <p>モデル事業（新） 55 地区</p> <p>*地域セーフティネット会議 30 地区</p> <p>*ごちそうさま 25</p>



No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					化や多世代が集う交流の場づくりを地域食堂サロン「ごちそうさま」のモデル指定をし、今後の地域づくり事業として重点的に進めます。	地区
8	歳末たすけあい運動配分事業 (激励金給付・地域づくり活動助成)	全市	共募配分金	13,300	<p>歳末たすけあい運動募金により生活困難者への「激励金給付」と、孤立を防ぎ地域の絆を深める「地域づくり活動助成」を行います。</p> <p>*激励金給付 生活困難なひとり暮らし高齢者・高齢者世帯、要介護者等がいる世帯、母子・父子世帯等への支援／災害被災世帯への支援</p> <p>*地域づくり活動助成 高齢者、障がい者等に対する生活支援活動／地域住民が交流するいきいきサロン活動／住民相互で支えあう地域づくり活動／子どもの健全育成を促すための活動／母子父子寡婦や障がい者の福祉団体を活性化するための交流活動等へ助成</p>	
9	安心生活創造推進事業	全市	受託金	8,392	<p>孤立防止のための実態把握とその対応、社会とつながりを持つための居場所づくり、日常生活の見守りやちょっとした困りごと等の生活支援を実施します。</p> <p>①抜け漏れのない実態把握事業 *民生委員、地域自治組織等と協働による、住民のくらしや意識、交流活動等について実態調査を行います。 *市内30地区で住民懇談会を開催し、ニーズを把握します。 *若者世代を対象とした意識調査等を行います。</p> <p>*前沢地域と胆沢地域のひとり暮らし高齢者の会食会参加者の意識調査について、岩手県立大学との協働研究に取組みます。</p> <p>②生活課題の検討・調整 *コミュニティソーシャルワークを積極的にすすめるため、社会資源の活用を検討・調整し、福祉活動専門員連絡会議を毎月開催するほか、関係機関を交えたケース検討会・調整会議を随時開催します。 *地区振興会との連携により、ワークショップを開催し、各種法改正や住民のニー</p>	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>ズに呼応した事業の再編と体制づくりを検討します。</p> <p>③抜け漏れのない支援の実施</p> <p>*ご近所福祉スタッフによる地域での見守り活動の推進と、ボランティア協力店の普及促進による買い物の支援の取組みを行います。</p> <p>*住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」(有償ボランティア)の取組みで、会員登録制による支援の必要な高齢者と障がい者の家事援助や生活援助をお手伝いする取組みを推進し、在宅生活のサポートを強化します。具体的な活動は、調理/洗濯/掃除/買い物/軽易な身の回りの世話/外出介助及び付添い/話し相手など</p> <p>④地域支援活性化事業</p> <p>*福祉活動専門員を配置し、小地域における支援の担い手と連携して支援を実施します。</p> <p>*ボランティア団体と共同で傾聴ボランティアやメイクボランティア養成講座の開催及び施設や地域での訪問活動の実施を支援します。</p> <p>⑤住民参加型まちづくり普及啓発事業</p> <p>*通年での地域福祉活動講座を開催する他、研修会や講演会を開催します。</p> <p>*地域福祉活動の見える化(視覚化)をすすめ、市内で先進的に地域福祉活動に取り組む地区の情報提供を行います。</p> <p>⑥自主財源確保事業</p> <p>*自主財源の確保のための取組みを強化します。(共同募金との共同による赤い羽根自動販売機の設置)</p>	<p>福祉スタッフ実施 行政区313行政区 (2%増)</p> <p>ボランティア協力店80店舗(現状維持)</p> <p>おねがい会員 120名(10%増)</p> <p>まかせて会員 80名(10%増)</p> <p>まかせて会員研修会4回/年 活動(支援)回数 2,266件(10%増)</p> <p>設置台数 46台(15%増)</p>
10	ふれあい昼食サービス事業	水沢 前沢 胆沢	会費・協賛金 共募配分金	709	調理ボランティアの育成と協働でひとり暮らし高齢者への会食による昼食サービスを行うことで社会参加の促進を図ります。	
11	東日本大震災被災者生活支援事業	全市	受託金	5,543	<p>東日本大震災内陸避難者の心のケアや孤立防止等のための見守りや相談支援と地域とのパイプづくりを進め、住民相互の交流機会の提供などを行います。</p> <p>*見守り・相談支援</p> <p>日常生活に関する相談支援、安定した生活確保に関する情報提供/ケース検討会/コミュニティづくり/調査等の</p>	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>実施</p> <p>*発災から8年目を迎え、被災者の生活実態と意識の変化を岩手県社会福祉協議会の要請を受け、県下統一のアセスメントに取り組みます。</p> <p>*市内はもとより、県内各地で開催される被災者支援イベントに参画し、交流活動を支援する他、関係機関とのネットワーク活動により寄り添い型支援を進めます。</p>	調査実施 97名
12	被災者コミュニティ形成支援事業	全市	受託金		<p>東日本大震災で被災した内陸移住の方々を中心に、ふれあいいきいきサロンや趣味創作のサークル活動等の主体的な活動を支援し、関係機関と地域とのネットワーク化を図ります。</p> <p>また、傾聴ボランティアの協力を得て、精神的なサポートの必要な被災者への訪問活動を行います。</p>	
13	金婚を祝う会開催事業	全市	参加費 共募配分金	1,855	<p>結婚50周年を迎えたご夫婦が参集し、互いに歩んできた道のりを祝福しあい、今後も健康で生きがいのある生活を送り、地域の中で活躍することを願って開催します。各地域福祉推進協議会と近年の参加組数の減少に伴う合同開催の協議も進めます。</p>	水沢 45組 江刺 45組 前沢 10組 胆沢 10組 衣川 5組
14	敬老会開催事業	水沢 江刺	補助金 共募配分金	7,437	<p>敬老精神によるお祝いと、要請に応じて地域で開催する敬老会に支援を行います。</p> <p>*敬老会開催/交流/社会参加促進等</p>	出席率 水沢 37% (同) 江刺 41% (45)
15	地域ニーズ対応事業	水沢 前沢	協賛金	439	<p>地域でのひとり暮らし高齢者のつどいなど地域特性を生かしたニーズに対応する事業を展開します。</p> <p>*地域での介護者リフレッシュ事業、ふれあい世代間交流の場設置事業など</p>	
16	高齢者いきいき事業	水沢	参加費 共募配分金	188	<p>元気高齢者を対象とし、社会参加の機会の提供と生きがいづくりのため「みずさわ思い出パートナー事業(回想法)」を開催します。</p>	
17	おげんきみまもりシステム	江刺	共募配分金	70	<p>ひとり暮らし高齢者宅の電話を用いて健康状態を発信する「いわて“おげんき”みまもりシステム」を活用して、近隣では見守りが困難な世帯の安否確認を行います。</p> <p>*江刺地域の要援護者を対象に、岩手県社会福祉協議会のICT(情報通信技術)のシステムを用いて毎日の安否確認をします。</p>	実利用 14人

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					*緊急時や必要な生活支援に対応できる地域のささえあい活動につなげていきます	
18	障がい者事業	江刺 胆沢	共募配分金	9	事業を通じて交流し、相互理解の推進を図ります。 *障がい者の日記念「ふれあい演芸会」事業 障がい者と健常者が演芸等をともに企画し、交流しながら相互理解を深めるとともに、「障がい者の日」の啓発を図ります。 *車いす・視覚障がい者のつどい 参加者が相互理解を深めるとともに、日常生活における交流の活性化を図ります。	参加者 江刺 300人  参加者 胆沢 20人
19	子どもの遊び場・愛の鐘、点検・整備事業	前沢	共募配分金	114	青少年の健全育成の推進を図ります。 ①共同募金配分により整備した遊び場の遊具の点検と安全確保を図ります。 ②地域との連携で時報チャイム放送機器の維持管理を図ります。	15か所管理  5か所稼働

#### 4 ボランティア活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	ボランティア・市民活動センターの運営	全市	参加費	4,320	ボランティア・市民活動センターの機能強化のために職員をボランティアコーディネーターとして専従化し、情報の提供や活動拠点の開設、ボランティア登録事業などを通じて、ボランティア活動の啓発と活性化、ボランティア団体の支援を行います。 また、各種講座を開催し、出会い・学び・協働の機会を創出し、共生の文化と人づくりのための基盤整備をすすめます。併せて、福祉教育を推進し、地域の多様な個人・団体と協働して総合的な支援体制を構築します。 ①講座研修会の開催 *ボランティア研修(動画編集ボラ等) / 福祉教育推進セミナー / ボランティアの集い / 回想法ボランティア講座 / ふくし出前講座など *行政がすすめている協働のまちづくりアカデミーと連携し、地域づくりやボランティアの担い手として活躍するリーダーを育成します。(ソーシャルキャン	研修参加者 1回30人

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>ブ、福祉大学等)</p> <p>②調査研究・情報提供</p> <p>*奥州・ゆいっこ人材名鑑の発刊/民間活動資金の紹介/SNSを積極的に活用したボランティア情報の発信とボランティアハンドブックの発行/ボランティアニーズアンケートの実施</p> <p>*ボランティア動画・ボランティアマニュアルの作成</p> <p>③相談・援助/コーディネート</p> <p>*ボランティアコーディネートの強化に努め登録制度の推進を図ります。</p> <p>*ボランティア保険等の加入促進/各ボランティア団体の活動支援など</p> <p>*地元企業や商店の地域貢献やボランティア活動への参画支援を進めるため、社会貢献活動研究フォーラムを開催します。</p> <p>④福祉教育の推進</p> <p>*効果的な福祉教育の推進のため、助成要領を検討し、市内の小学校・中学校・高等学校等の教育現場における福祉教育を推進します。</p> <p>*モデル協力校による地域住民との交流機会を通じ、コミュニティの活性化とたすけあいを醸成する仕組みづくりを進めます。</p> <p>*福祉教育メニューを開発し、効果的な福祉教育推進を図ります。</p> <p>⑤地域の特徴的活動等</p> <p>テクノボランティア活動/車いすフレンドズ/書き損じはがき等の回収/ひざかけプレゼント行動/握手の日・ボランティア週間/ヒロノ福祉パーク祭・夢灯り in 江刺/ボランティア協力店/スターキッズ大作戦/ジュニアスターサマーボランティア/それいけサンタ大作戦・ハッピーサンタ大作戦・ハローサンタ大作戦など地域特性を生かしたボランティア活動を推進します。</p> <p>⑥災害被災地や被災者支援</p> <p>被災地の要請に応じて、災害救援サポーター奥援隊や市民ボランティアの派遣を行います。</p>	<p>人材名鑑登録者 100人 (20%増)</p> <p>ボランティア登録者 52人 (30%増)</p> <p>ボランティア協力校 (新・モデル) 10校</p>
2	除雪支援活動	全市	-	-	高齢者・障がい者等を対象とした冬期間の除雪ボランティア(スノーバスターズ)	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					による生活支援ネットワークを推進します。	
3	ボランティアの集い、福祉まつりの開催	全市	共募配分金	575	心のふれあいと安らぎのある福祉地域づくりを目的として、支えあい活動の輪が広がるよう市民みんなの出会いと交流、福祉活動の成果発表の場として開催します。	
4	ヒロノ福祉パーク祭 in 夢灯りの開催	江刺	共募配分金	212	高齢者から若者、幼児まで、そして障がいを持つ人、持たない人などが、安心して暮らせるまちづくりに向けて、ヒロノ福祉パークから市民に向けてメッセージを発信し、共に支えあう地域づくりに貢献することを目的として開催します。	
5	収集ボランティア運動	前沢	共募配分金	47	実行委員会を組織しペットボトルキャップの収集リサイクル支援の運動を展開します。	ボランティア／ 200 人 収集 2.0 トン (前年同)

## 5 福祉サービス利用支援事業

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	権利擁護あんしんセンター	全市	受託(県) 受託金(市) 利用料	8,908 6,000 2,103	<p>成年後見制度や日常生活自立支援事業の対象の権利擁護を必要とする方が、地域で安心して暮らし続けることができるように、一体的・総合的な支援を行います。</p> <p>①法人として成年後見の受任 *成年後見支援員 30 人 権利擁護相談員 1 人</p> <p>②総合相談会の開催</p> <p>③成年後見制度の啓発と手続きのお手伝</p> <p>④市民後見人養成の取組み</p> <p>⑤日常生活自立支援事業 *福祉サービス利用支援／日常的金銭管理サービス／通帳書類等預かりサービス／相談・訪問活動 *生活支援員 34 人、専門員 2 人</p> <p>⑥障がいのある人の不利益な取扱いの相談 窓口の開設 (本所・各支所で受け)</p>	
2	奥州市生活困窮者自立相談支援事業	全市	受託金	32,585	奥州市民及び金ケ崎町民を対象に生活保護にならない為の第2のセーフティネットとして、生活保護受給者以外の現に経済的に困窮し、最低限度の生活維持ができなくなる恐れのある人を対象とし、その自立と尊厳の保持、困窮者支援を通じた地域づくりを目標とする事業であり、メイプル地下に事務所を開設し、対象者に寄り添う伴走型の相談援助に取組みます。	(奥州市) ・新規相談受付件数 275 件／年 ・プラン作成件数 120 件／年 (前年同) (金ケ崎町) ・新規相談受付件数 27 件／年

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>また、奥州市生活困窮者就労準備支援事業、奥州市被保護者就労準備支援事業として、生活困窮者困窮世帯及び生活保護世帯に対し、早期に困窮状態から脱却することを支援するため、本人の状況に応じて、日常生活自立支援、社会生活自立支援若しくは就労自立支援を提供し、一般就労へ結びつく着実な支援体制を構築することに取り組めます。</p> <p>(無料職業紹介所設置運営事業)</p> <p>奥州市内に居住する生活困窮者自立支援法にかかる自立相談支援事業の利用者に対し就業を斡旋するため、厚生労働省の認可を受け、無料職業紹介事業を行い、職業を斡旋することに取り組めます。</p> <p>(フードバンク運営事業)</p> <p>何らかの理由で生活が困窮した状態になり、当面の食料がない世帯に対し、企業及び市民から募った食品を提供することで、生活の基盤となる食のセーフティネットを構築し、自立へ向けた意欲の向上を図ることを目的とするとともに、困った時はお互いさまの気持ちを地域に根付かせ、お互いに支えあう福祉のまちづくりを目指し事業を実施します。</p> <p>(フードドライブ協力事業所募集事業)</p> <p>何らかの理由で生活が困窮した状態になり、食料の確保が困難な世帯等を支援するため、あまった食料品を気軽に持ち寄る拠点を作ることで、フードバンク事業の理解を深めていただくとともに、必要な食料の確保に努めることを目指し取り組めます。</p> <p>(家族食堂事業)</p> <p>様々な理由で困窮している世帯に対し、飲食店経営者の理解を得ながら、食事を提供することで、経済的な支援や社会参加の機会を提供し、自立支援につなげていくことを目指し事業を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラン作成件数 12件/年 (前年同)</li> <li>(就労準備支援事業)</li> <li>・新規務対象者数 10件/年</li> <li>・就労者5件 (前年同)</li> <li>有効求職者 見込数10人/年</li> <li>食料提供受付件数 150件/年 (前年同)</li> <li>拠点協力事業所数 3事業所/年</li> <li>協力店舗数 12件/年</li> <li>協賛団体数 3件/年</li> </ul>
3	心配ごと相談の開設	全市	共同募金	333	<p>*権利擁護あんしんセンターとくらし安心応援室、資金貸付事業と連動した市民のためのよろず相談窓口を設置し、悩みごと、困りごとの解決援助を行うため相談所の開設をします。</p> <p>水沢*毎週金曜日 奥州市総合福祉センター</p> <p>江刺*奇数月第2月曜日 江刺総合コ</p>	

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>コミュニティセンター</p> <p>前沢*偶数月第3火曜日 前沢健康管理総合センター</p> <p>胆沢*偶数月第1木曜日 胆沢総合福祉センター</p> <p>衣川*奇数月第4水曜日 衣川保健福祉センター</p> <p>*ケース検討会と複雑化・複合化してきている世帯環境に関する研修会を開催します。</p> <p>*他の相談機関との連携をします。</p> <p>*地域における包括的な支援体制の構築に向けた総合的支援体制づくりの検討と協議を進めます。</p>	
4	生活福祉資金貸付事業	全市	受託金	4,827	<p>岩手県社会福祉協議会からの受託であるが、生活困窮者自立相談支援事業との連動を行い、要支援者を対象に、生活福祉資金の貸付による更生援助を行います。</p> <p>*目的資金の貸付受付及び進達</p> <p>*世帯の自立支援/実態把握/償還指導</p>	
5	たすけあい資金事業	全市	会費 寄附金	1,601	<p>生計維持困難な支援者を対象に、生活困窮者自立相談支援事業及び生活福祉資金貸付事業との連動を図り、たすけあい資金の貸付による更生援助を行います。</p> <p>*小口の生活福祉資金貸付と生活支援</p> <p>*貸付金5万円まで/無利子</p>	
6	ファミリーサポートセンター事業	全市	受託金	8,460	<p>子育ての支援を受けたい人と、支援を行える人が会員登録をし、有償で相互援助を行います。</p> <p>*広報による会員の募集</p> <p>*市民向け講習会の開催</p>	<p>新規提供会員 10人</p> <p>内訳</p> <p>水沢・胆沢 5人</p> <p>江刺 3人</p> <p>前沢・衣川 5人</p>
7	福祉団体支援事業	全市	-	-	<p>各種団体機関との連携協働、活動支援をします。</p>	
8	福祉バス運行事業	全市	受託金	3,809	<p>地域福祉事業の活性化と福祉団体等活動支援のため福祉バスを運行します。</p>	
9	障がい者等地域生活支援事業 ①自発的活動支援事業 ②手話奉仕員養成研修事業 ③移動支援事業 ④日常生活支援事業 ⑤社会参加支援事業	水沢	受託金 参加費	2,236	<p>①障がい者が集う空間づくりを目的とする生活支援事業(筆談交流会、きこえのサポート教室など)に取組みます。そのほか、にじの会が実施するゆったりサロンの開催を支援します。</p> <p>②聴覚障がい者の日常生活上の基本的なコミュニケーションの支援と交流を図るため、聴覚障がい者等の知識と日常会話に必要な手話表現技術等の習得者を養成します。</p> <p>③屋外での移動に困難がある障がい者・児</p>	<p>教室/3回</p> <p>受講生 20人</p>



No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>について、外出のための車両移送による移動支援を行い、地域での自立生活と社会参加を促します。</p> <p>④生活訓練等を目的とする事業(料理教室など)を行い、地域での自立生活を促します。</p> <p>⑤障がい者を対象とするスポーツ事業などを行います。また、障がいを持った人の地域生活をサポートするボランティア養成研修・コミュニケーション事業を行います。</p> <p>*ニュースポーツ教室/スポーツ交流会/手芸体験教室</p> <p>*点訳講習会/音声訳講習会</p>	<p>教室/10回 参加者12人</p> <p>参加者20人 参加者各15人</p>
10	地域活動支援センター事業(障がい者デイサービス)	全市	受託金 補助金 利用料	3,677	<p>障がい者のためのデイサービス事業を行います。</p> <p>*カラオケ、編み物などによる機能維持活動、創作活動</p> <p>*週5日(月～金)/定員1日10人</p>	<p>利用者 600人/年間 (60人減)</p>
11	胆江地区広域交流センターの管理事業	水沢	受託金	16,481	<p>佐倉河仙人地内のごみ焼却熱利用の入浴施設、温水プール、体育施設等の管理運営を行います。</p> <p>*大人300円/子ども100円/障がい者割引有/月曜日休館</p>	<p>利用者 50,000人/年間</p>
12	外出支援サービス事業	前沢 胆沢 衣川	受託金 利用料	4,991	<p>寝たきり高齢者・重度の下肢障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を進めます。</p> <p>*外出支援に関する今後の運営に向けた検討と協議を進めます。</p> <p>*運転ボランティアの養成を図ります。</p> <p>*交通弱者に対する福祉有償運送を総合的に調査・検討します。</p>	<p>前沢 18人/350回 (100回減)</p> <p>胆沢 15人/80回 (30回減)</p> <p>衣川 10人/150回 (50回増)</p>
13	屋内ゲートボール場の設置経営(すぱーく胆沢)	胆沢	補助金 利用料	1,428	<p>ゲートボールを通じ高齢者の生きがい・仲間・健康づくりに寄与し、子どもから高齢者のふれあいの場、生涯スポーツ振興の活動拠点として屋内ゲートボール場を設置経営します。</p>	
14	前沢健康管理センターの申請業務	前沢			<p>前沢健康管理センターの利用者の利便を図るため使用申請窓口業務を行います。</p>	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
-----	-----	----	------	-------------	-----	-----

## 6 介護保険事業の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	居宅介護支援事業	全市	居宅介護支援介護料 受託金	25,807	介護保険の認定を受けた方のケアプラン作成を行い、介護保険制度を円滑に利用できるようお手伝いをいたします。	要介護 125 件、 1,950 千円／月 要支援 46 件、 200 千円／月
2	通所介護事業	全市	居宅介護料 利用料	85,692  (29,296)  (56,396)	介護保険の認定を受けた方に対して、デイサービス事業（通所介護・予防通所介護事業）を行います。  *デイサービスセンターだいの園 定員 1 日 18 人 地域密着型  *胆沢デイサービスセンター 定員 1 日 30 人	(だいの園) 要介護 217 件、 (29 件増) 17,198 千円／月 要支援 23 人 (前年度同人数)、 515 千円／月 利用料等 119 千円／月 (胆沢デイ) 要介護 397 件、 3,565 千円／月 要支援 36 人、 827 千円／月 利用料等 307 千円／月
3	元気応援型通所事業	水沢 胆沢  江刺 前沢 の一部	居宅介護料 利用料	11,572	利用者の生活機能の維持向上のため、運動機能向上のトレーニングやレクリエーション活動等を提供します。	要支援・事業対象者 4 月 40 人スタート、10 月から 80 人 784 千円／月 利用料等 78 千円／月
4	訪問介護事業 ヘルパーサービス「げんき」	全市	居宅介護料 自立支援費 受託金	113,780  介護 (77,188) 障がい (32,862)	介護保険の認定を受けた方、障がい者、要介護認定で自立となった高齢者へホームヘルパーが訪問し、家事支援や身体介護を行い在宅生活を継続的に支援します。	要介護 92 人、 4,064 千円／月 要支援 120 人、 2,368 千円／月 障がい者 89 人 2,693 千円／月 移動支援 5 件、 45 千円／月
5	小規模多機能型 居宅施設 「あすも」	前沢	居宅介護料 利用料	52,249	利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、「訪問」「通い」と短期間の「宿泊」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の中で生活上の支援や機能訓練を行います。 *定員 24 人	要介護 19 人、 (要介護 1 名増) 3,080 千円／月 要支援 5 人、 302 千円／月 利用料等

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
						971 千円/月
6	いさわ高齢者 複合施設 「じゅあんの園」	胆沢	居宅介護料 利用料	95,839  (77,232)  (18,607)	<p>認知症対応型グループホームと認知症対応型デイサービスセンターの複合型施設の経営を行います。</p> <p>*グループホーム/定員 18 人 (9×2 棟) ぬくもりのある家庭的な雰囲気の中で、個々の利用者の個性を尊重し、安心して生活を送ることが出来るような環境作りに努めます。また、地域に根ざした施設として、地域住民との交流、外出を通し、社会との繋がりを大切にし、いきいきとした生活を送られるよう支援します。</p> <p>*デイサービスセンター/定員 12 人 一人ひとりの個性に合わせたサービスの提供を目指し、楽しむ、学ぶ、運動する、出かける等のメニューを組み入れ、認知症の進行を遅らせることができるよう支援します。また、認知症の進行に伴い、家族の不安に対し相談、援助を行い、在宅生活を継続できるよう支援します。居宅介護支援事業所との連携を図り、利用者の確保に力を入れていきます。</p>	<p>(グループホーム) 要介護 18 人、 4,843 千円/月 利用料等 1,593 千円/月</p> <p>(デイサービス) 要介護 150 件、 (20 件増) 1,780 千円/月 利用料等 80 千円/月</p>

## 7 介護予防活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	地域包括支援センターランチ型運営事業	水沢	受託金	4,476	高齢者や介護家族等の相談に応じ、介護保険給付該当外の方が安心して地域生活を継続できるように関係機関と連携しながら支援します。また、在宅高齢者宅を訪問し日常生活や体調について調査活動を行います。	訪問相談 250 件 (60 件増) 介護予防教室 20 回 家族介護教室 3 回 認知症カフェ 12 回 個別ケア会議 10 回
2	江刺高齢者生産活動センター	江刺	指定管理料 受託金	8,428  (5,768) (2,660)	<p>高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を推進し、山村地域の振興を図ります。</p> <p>*生産活動の場の提供/創作活動の場の提供/販路の拡大</p>	平成 30 年度から平成 34 年度まで 5 年間 利用者延 1,400 人 (200 人減)
3	高齢者地域活動推進事業	江刺 前沢 胆沢	受託金 共募配分金	(2,111)	<p>高齢者の生きがいと社会参加を促進すると共に、家に閉じこもりがちになり暮らし高齢者等に対し、施設を活用した活動の場を提供し、社会的孤立感の解消及び自立の支援を図ります。</p> <p>*江刺「いきいき講座・同好会」</p>	(江刺) 講座 (新規含む) 25 回、450 人/年 (50 人増) 同好会 560 回、7,200 人/

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
				(2,041) (59)	*前沢「趣味・創作活動」 *胆沢「べんてん広場」「みんなのたまり場」	年 (100人増) (前沢) 新規講座 7講座、22回/年 同好会 5団体 (胆沢) 毎月開設

## 8 児童福祉事業の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	米里保育所の運営	江刺	補助金 運営費	31,093	保護者の仕事の都合などにより、家庭で子どもの保育ができない方の為に代わって保育をします。保育所保育指針に従って日々安全に配慮しながら、心身共に健やかな成長と基本的な生活習慣の自立を援助します。 *定員 20人 *乳幼児保育/障がい児保育/一時的保育/子育て支援	
2	放課後児童健全育成事業 児童クラブ事業	水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川	指定管理料 委託料 利用料 手数料	229,030  水沢・ 江刺愛宕 (156,316) 前沢 (21,352) 胆沢笹森 (8,811) 南都田 (8,327) 胆沢 (20,912) 衣川 (13,312)	就労等により保護者が日中家庭にいない小学校に就学している児童を対象として、放課後児童クラブにおいて、児童の保育サービスを提供します。 また、小学校や地域と連携し、地域における児童の総合支援を行います。 (19施設・29クラブ) *水沢地域 8小学校区・8施設/定員520人 *江刺愛宕小学校区・1施設/定員65人 *前沢地域(新) 前沢小学校区・2施設/定員135人 *胆沢地域 胆沢地域内4小学校区・2施設4クラブ/定員155人 *衣川地域 2小学校区・2クラブ/定員60人	

## 9 収益事業

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	前沢バス運行事業	前沢	補助金 利用料	19,591	高齢者などの交通弱者を含めた前沢地域内の利用希望者を対象として、ドア・ツー・ドアの交通手段を確保し、外出しやす	利用者 13,835人/年 (629人増)

					<p>い環境を整備し、日常生活の利便性を図ります。また、奥州市および運行委員会と協議を進めて、より良いサービスの向上につなげて行きます。</p> <p>*前沢地域内のみ 大人1回300円/小学生1回150円/ 障がい手帳所持者・運転経歴証明書(交付日から3年まで) 提示は半額</p>	<p>利用料 3,539千円/年 (96千円増)</p>
2	販売機の設置事業	水沢 江刺	手数料収入	398	<p>自動販売機の売上手数料の利益を福祉活動に役立てます。</p> <p>*奥州市総合福祉センター/江刺総合コミュニティセンターに設置</p>	